

# 令和7年度認定こども園リーチェル幼稚園における学校関係者評価および自己評価の結果報告

自己評価アンケート集計日 令和8年3月 17日  
 学校関係者評価委員会評価実施日 令和8年3月 24日

## 1. 園の教育目標

心身ともにたくましい子になろう

## 2. 認定こども園リーチェル幼稚園の目指す子供の姿

キラキラ笑顔で 明るく素直な子  
 夢を抱き 何事にも挑戦する子  
 みんなを応援でき 思いやりのある子

## 3. 学校評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	反省と改善点	評価	意見
1	保育の計画性	A	カリキュラム・マネジメントについての研修及び研究を重ね、保育の考え方・捉え方を見直し、より質の高い保育を実践していく手だてを職員間で深めていった。子どもの興味関心に合わせた保育実践に向け、工夫改善を繰り返し、より子どもの日々の姿に合わせ、より丁寧な保育になるよう努めた。	A	時代に即した保育実践に向け、教職員も研修を積み重ね、保育のとらえ方を柔軟にし、これからも日々の保育をより丁寧に実践していつてもらいたい。
2	保育の在り方園児への対応	B	カリキュラム・マネジメントについての研修を継続し、保育の考え方・捉え方について、子ども主体の保育とは？について再度確認し、より良い保育を教職員が主体的に実践できるよう試行錯誤してきた。子ども主体の保育が実践できるよう、配置基準以上に職員を配置するなど、職場環境についても少しずつ改善し、また、不適切保育とならないよう、教職員の心身のケアのためのカウンセリングセルフチェックも定期的の実施し、意識向上に努めた。	A	これからも子どもが安心安全な環境で教育保育ができるよう、また、不適切保育が発生しないよう、園児一人ひとりを尊重し、個々に合わせたきめ細かな保育を実践していつてほしい。
3	教師としての資質・能力良識・適性	A	先述にもあるが、カリキュラム・マネジメントについての研修を継続し、子ども主体の保育について研鑽し、保育の質向上に努めた。全職員対象におこなっている対話の研修では、職員の同僚性の向上や人間力向上に努めている。キャリアアップ研修についても計画的に受講し、職員の質の向上に努めている	A	引き続き、職員全体研修やカリマネ研修を実施するなど、年間多く研修に参加し、積極的に教職員の資質向上に努めているといえる。
4	保護者への対応	B	毎年行っている保育参加（保護者の保育体験）を引き続き実施し、園での様子や保育方針を実体験により理解してもらう取り組みをおこなっている。また、参観会では、保護者参加型のコーナーも取り入れ共育の実践をおこなった。また、日々の園児の様子については、保育ドキュメンテーションや写真販売を通して伝えていった。父母の会の活動については共働き世帯がほとんどであるため、運営が年々厳しくなっているが、職員との親睦会を実施するなど工夫した	B	毎年あげられる課題である「園とのコミュニケーションの機会」については、懇親の機会の創出や、親の参加型参観をおこない工夫し、満足度はあがった。その他、教職員の子どもへの対応の姿や雰囲気、安全性への配慮や園内清潔感など、保護者の期待する部分があるため、それらの点においても満足度を高められるよう努力していつて欲しい。

5	研修と研究	B	昨年に引き続き、カリキュラム・マネジメントについて岡山大学教授から指導を受けており、そこでの学びや方策を研究対象とした。また、それと並行して、同僚性を高めるダイアログ研修も継続的におこない、職員同士の協力体制を高め、より質の高い保育の実践を目指した。次年度も引き続きおこなっていく。	A	教育内容がより充実したものとなるよう教育研究に努めていって欲しい
---	-------	---	---	---	----------------------------------

\*結果の表示方法  
 十分達成されている A  
 達成されている B  
 取り組まれているが、成果が十分でない C  
 取り組みが不十分である D

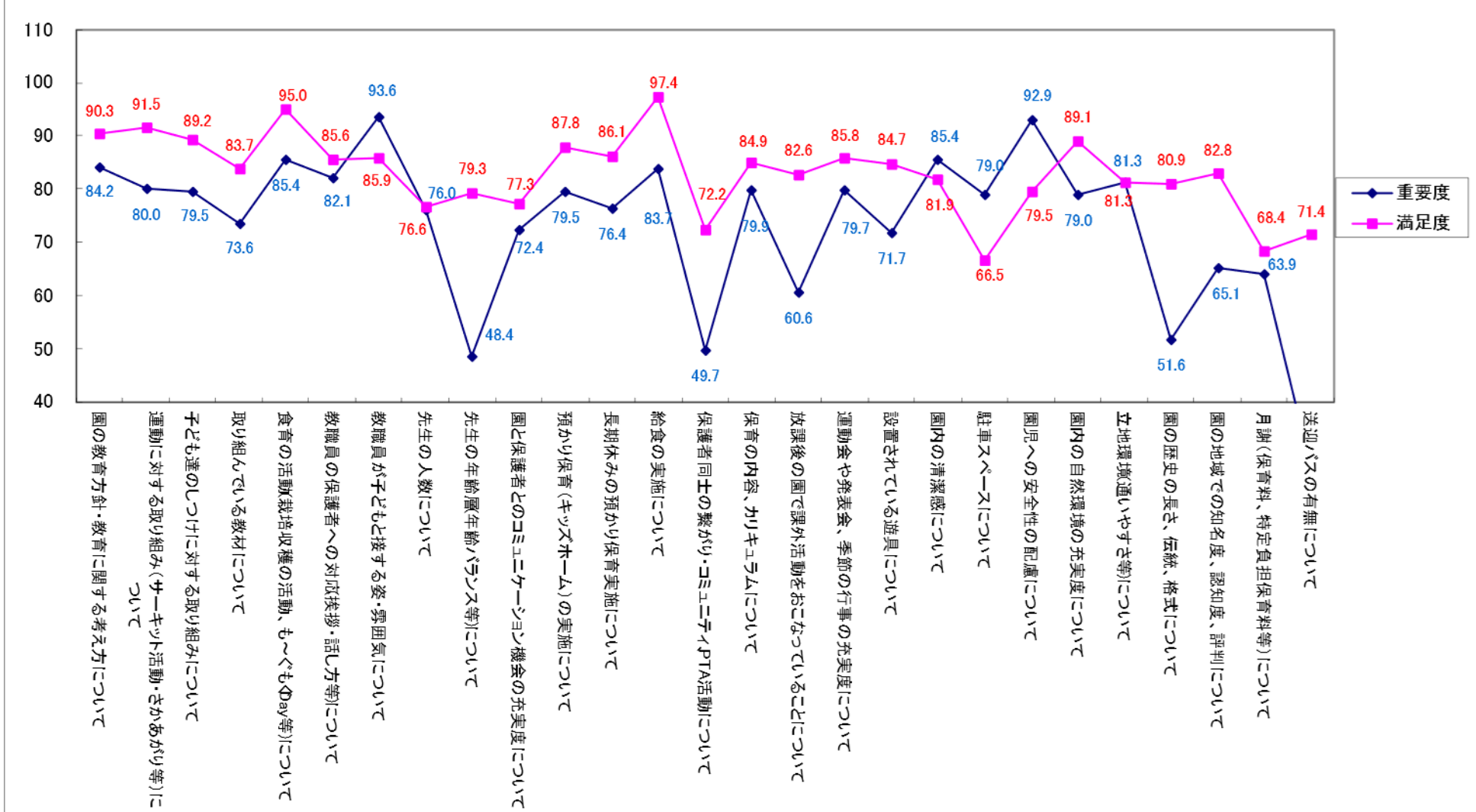
#### 4. アンケートによる自己評価（教職員）および保護者による学校評価の結果

	項目	質問内容	自己評価	学校評価		
1	理念・教育方針	園の教育に関する考え方	76.2	77.8	90.3	89.9
		運動に対する取り組み	78.3		91.5	
		子ども達のしつけに対する取り組み	79.1		89.2	
		取り組んでいる教材について	70.5		83.7	
		食育の活動（栽培収穫の活動、も〜ぐもぐDay等）について	84.7		95.0	
2	教職員の取り組み	教職員の保護者への対応(挨拶・話し方等)について	76.9	69.8	85.6	80.9
		教職員が子どもと接する姿・雰囲気について	70.1		85.9	
		先生の人数について	72.3		76.6	
		教職員の年齢層(年齢のバランス等)について	68.2		79.3	
		園と保護者とのコミュニケーション機会の充実度について	61.7		77.3	
3	教育・保育に関するサービス	預かり保育の実施について	69.2	72.3	87.9	85.3
		長期休みの預かり保育実施について	68.5		86.1	
		給食の実施について	87.2		97.4	
		保護者同士の繋がり・コミュニティ・PTA活動について	69.8		72.2	
		保育の内容、カリキュラムについて	69.4		84.9	
		放課後の園で課外活動をおこなっていることについて	62.3		82.6	
		運動会や発表会、季節の行事の充実度について	79.6		85.8	
4	施設・設備・環境	設置されている遊具について	78.6	74.7	84.7	80.5
		園内の清潔感について	72.3		81.9	
		駐車スペースについて	74.1		66.5	
		園児への安全性の配慮について	67.9		79.5	
		園内の自然環境の充実について	82.1		89.1	
		立地環境(通いやすさ等)について	73.2		81.3	
5	その他	園の歴史の長さ、伝統、格式について	71.9	71.9	80.9	75.9
		地域での知名度、認知度、評判について	69.7		82.8	
		月謝（保育料、特定負担保育料等）について	68.8		68.4	
		送迎バスの有無について	77.2		71.4	

## 5. 保護者アンケートによる重要度と満足度の調査結果

※重要度とは幼稚園選びの際にどの項目を重視しているのかを示し、満足度とはリーチェル幼稚園の取り組みに対する各項目の印象(満足度)を示しています

# 保護者の満足度調査



6. 学校関係者評価委員会による総評

<p>例年、園の理念・教育方針に対する保護者の理解は高く、教育・保育内容についても、園の取り組みに対して概ね高い評価が得られている。特に、食育の活動や給食、運動に対する取り組み、行事の充実、園内の自然環境などについては、保護者からの満足度も高く、リーチェル幼稚園らしい特色ある教育・保育が実践されていると評価できる。</p> <p>また、カリキュラム・マネジメントに関する研修や、子ども主体の保育に向けた研究、職員同士の同僚性を高める対話の研修など、教職員の資質向上に継続して取り組んでいる点も評価できる。今後も、子ども一人ひとりの興味・関心に寄り添い、安心・安全な環境の中で、子どもが子どもらしく主体的に生活し、学びを深めていける保育をさらに充実させていってもらいたい。</p>	<p>総評</p>
<p>一方で、園児への安全性の配慮、駐車スペース、施設・設備・園内環境の整備についても、引き続き改善を意識して取り組んでいく必要がある。日々の安全管理や環境整備を丁寧に行いながら、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを継続してもらいたい。</p> <p>総合的には、園全体として教育・保育の質の向上に向けた努力が継続されており、保護者からも高い評価を得ている。今後も、園の特色を大切にしながら、時代に合わせた保育に積極的に挑戦し、子どもも保護者も教職員もより満足できる園運営を期待したい。</p>	<p>A</p>

7. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>教職員の資質向上、子どもや保護者への対応の充実</p>	<p>カリキュラム・マネジメントや子ども主体の保育に関する研修を継続し、教職員一人ひとりが保育のねらいや子どもの育ちをより深く理解できるよう努める。また、対話を重視した園内研修を通して、職員同士の連携や同僚性を高め、子ども一人ひとりに寄り添った丁寧な関わりを実践していく。保護者に対しては、日々の子どもの姿や保育の意図がより伝わるよう、保育ドキュメンテーションや参観会、保育参加、懇談の機会などを工夫し、園と家庭との信頼関係をさらに深めていく。</p>
<p>園児への安全性の強化</p>	<p>園児が安心して生活できる環境を整えるため、日々の安全点検や遊具・園舎・園庭の確認を継続して行う。また、ヒヤリハット事例や事故につながり得る場面を職員間で共有し、未然防止に向けた意識を高める。園児の活動範囲や動線、送迎時の安全、災害時の対応などについても定期的に見直し、必要に応じて改善を行うことで、安全管理体制の充実を図る。</p>
<p>施設・園庭等園内環境の整備・美化</p>	<p>園児が安全で心地よく過ごせるよう、園舎、保育室、園庭、遊具、駐車場等の環境整備を計画的に進める。特に園庭や自然環境については、子どもたちの興味・関心を広げ、主体的な遊びや学びにつながる環境となるよう工夫していく。また、清掃や整理整頓、設備の点検・修繕を日常的に行い、保護者や来園者にも安心感を持っていただける清潔で美しい園内環境づくりに努める。</p>